

令和2年度事業報告書

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター

第1 組織運営状況

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により政府の指導に従い在宅勤務を可能な限り取り入れ、新しい形での組織運営を行った。

くら寿司株式会社より、当センターの取り組みに対し、寄付の申し出があり寄付を受けた。また、漁業就業支援フェアのポスターを店舗に掲出するなど来場者を増やすために協力頂いた。

会員等、組織体制は下記の通りである。

【会員及び理事及び監事】

会員数 正会員5名、賛助会員17団体

理事 5名（うち1名は代表理事） 監事 2名

正会員	小坂 智規（代表理事） 三浦 秀樹（理事） 小林 憲（理事） 土屋 和（理事） 納富 善裕（理事）
賛助会員（団体）	全国漁業協同組合連合会 一般社団法人大日本水産会 株式会社アール・ピー・アイ 日本かつお・まぐろ漁業協同組合 一般社団法人全国いか釣り漁業協会 全国さんま棒受網漁業協同組合 一般社団法人全国まき網漁業協会 一般社団法人全国底曳網漁業協会 一般社団法人全国近海かつおまぐろ漁業協会 一般社団法人日本トロール底魚協会 一般社団法人日本定置漁業協会 日本遠洋旋網漁業協同組合 一般社団法人海外まき網漁業協会 全国内水面漁業協同組合連合会 日本捕鯨協会 宮城県北部船主協会 くら寿司株式会社
監事	田中 要範 平井 克則

【令和元年度事業監事監査】

令和2年6月18日（木） 10：30～11：30（就業者センター事務所内）

- 第1号議案 令和元年度事業報告及び収支決算について
- 第2号議案 その他

【第1回理事会】

令和2年6月25日（木） 10：30～10：45（大日本水産会大会議室）

- 第1号議案 令和元年度事業報告及び収支決算案について
- 第2号議案 役員の改選について
- 第3号議案 その他

【社員総会】

令和2年6月25日（木） 10：45～10：50（大日本水産会大会議室）

- 第1号議案 令和元年度事業報告及び収支決算について
- 第2号議案 役員の改選について
- 第3号議案 その他

【第2回理事会】

令和2年6月25日（木） 10：50～11：00（大日本水産会大会議室）

- 第1号議案 代表理事会長の互選について
- 第2号議案 その他

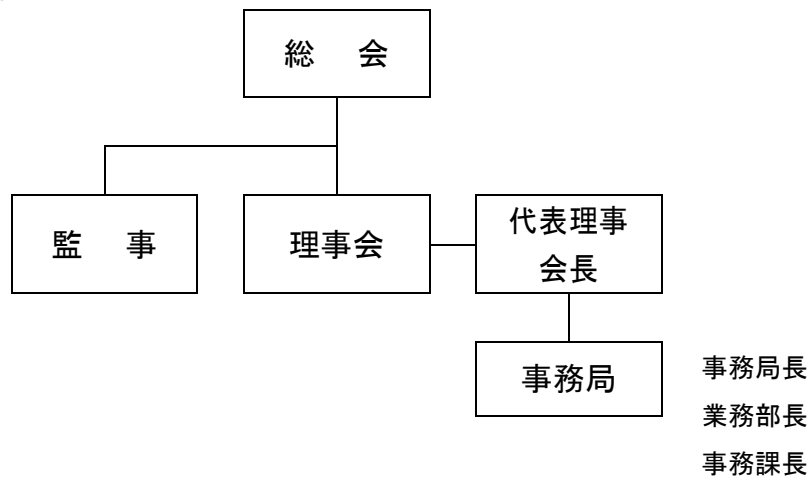
【第3回理事会】

令和3年3月29日（月） 11：30～12：00（大日本水産会大会議室）

- 第1号議案 令和3年度事業計画案及び収支予算案について
- 第2号議案 業務執行に係る契約の締結について
- 第3号議案 その他

【組織の機構及び事務局】

機構図



第2 事業実施状況報告

令和2年度において、水産業界の重要な課題である新規就業者対策及び漁船操業安全対策について、水産庁補助事業を通じ計画通り取り組んだ。また国の補正予算により令和3年2月、新規就業者対策にかかる追加交付決定を受けた。

実施した事業概要は次の通りである。

(1) 新規就業者対策としては、漁業人材育成総合支援事業（令和2年度当初予算）、漁業担い手確保緊急支援事業（令和元年度補正予算・令和2年度補正予算）を実施した。

予算名	補助金
漁業人材育成総合支援事業 【令和2年度当初予算】	予算額 661,242 千円 実績額 637,309 千円 国庫返納金 23,933 千円
漁業担い手確保緊急支援事業 【令和元年度補正予算】	予算額 99,996 千円 実績額 99,996 千円
【令和2年度補正予算】 令和3年2月22日交付決定	予算額 104,487 千円 実績額 0 円 次期繰越金 104,487 千円（次年度へ繰越承認取得済）

・次世代人材投資（準備型）事業については、漁業への就業に向け、都道府県等が認める研修を実施する漁業学校等において研修を受ける者に支援金（最大150万円/人）を支給した。

実績：11団体37名 (内訳) 岩手県1名 宮城県1名 神奈川県1名 静岡県13名 京都府6名 徳島県1名 香川県1名 熊本県2名 佐賀県1名 宮崎県7名 大日本水産会3名

・各都道府県に設置されている事業実施機関に対し、事業が円滑に行われるよう指導を行った。

実績：40都道府県 助成額 552,069 千円

・漁業への就業希望者が円滑に漁業に就業できるよう漁業就業支援フェアを開催した。コロナ禍での開催となり、従来から行っているリアル出展の他、オンラインでの出展を取り入れた。また、会場内の人数を減らすため、開催回数を増やした。

実績：3都市6回開催 出展205（76）団体（ ）内はオンラインでの出展数	
来場者数637名	
◆東京 池袋サンシャインシティ	9月26日 出展27（9）団体、来場163名
	11月28日 出展41（15）団体、来場103名
◆大阪 OMM ビル	11月3日 出展45（6）団体、来場206名
	2月27日 出展43（27）団体、来場62名
◆福岡 西鉄ホール	10月17日 出展22（4）団体、来場62名
アクロス福岡	3月6日 出展27（15）団体、来場41名

・漁業未経験者に対し現場研修を実施した。

実績：403名
(内訳) 沿岸漁業研修生370名 沖合・遠洋漁業研修生33名

・45歳未満または漁業への着業5年未満の新規就業者等に対し、漁業就業に必要な技術習得をする際に支援を行った。

実績：289名
(内訳) 小型船舶操縦士 105名
2級海上特殊無線技士 88名 3級海上特殊無線技士 33名
第4級海上無線通信士 27名
3級海技士 3名 4級海技士 23名
安全操業講習会 10名

・任期制自衛隊員向けの就職相談会が9月8日名古屋、11月25日東京にて開催され、これに参加した。

・例年開催していた函館少年刑務所への訪問はコロナ禍により断念したが、一昨年同刑務所で行った就業相談会によりマッチングした受刑者が2名雇用に結びついた。

・コロナ禍に対応し、令和3年4月採用希望のある漁業会社の情報をとりまとめ「協力企業情報 2020」を作成し、水産高校に配布した。併せて漁師.jpweb サイトに掲載した。

掲載企業：カラー版36社 追加版22社

・全国4校の水産・海洋系高等学校において漁業ガイダンスを開催した。うち1回はオンラインでの開催となった。

千葉県立大原高校 11月19日	静岡県立焼津水産高校 11月28日、
北海道小樽水産高校 2月9日※web開催	栃木県立馬頭高校 3月18日

- ・通信制高校NHK学園より漁業ガイダンス開催の希望があり7月31日にオンラインでのガイダンスを行った。
- ・大阪の私立高校より11月18日に開催された進路ガイダンスへの参加要請があり参加した。
- ・YouTube公式アカウントを新たに開設し、船主紹介等の動画(15本)を配信した。
- ・SNS (Facebook、Twitter、LINE) による情報発信をした。
- ・水産高校卒業生からの先輩動画メッセージを企画し募集した。(配信は令和3年度(18本))
- ・日本かつお・まぐろ漁業協同組合と連携し遠洋漁業の実態を動画により紹介するシリーズ解説「遠洋漁師になるって夢を叶える動画っ!」を制作した。(配信は令和3年度(12本))
- ・各種調査を行った。

新規漁業就業者数調査 (大臣許可分)
 研修終了後の着業状況確認調査 (大臣許可分)
 水産高校卒業生 漁業就業定着状況調査 (大臣許可分)
 漁業ガイダンス参加者アンケート (ガイダンス参加生徒対象)

・漁業就業支援フェアに来場した水産高校生等にアンケートを実施し、回答者にクオカードを配布した。また、漁業ガイダンスに参加した高校生に対し、漁師 jp オリジナルマスクを給付した。

(2) 漁船の安全対策のため「漁船安全対策推進事業」を実施した。

事業名	補助金	
漁船安全対策推進事業	予算額	7,548 千円
	実績額	2,271 千円
	執行残	5,277 千円

- ・2月25日に安全点検マニュアル作成普及等検討委員会を開催した。
- ・事故を未然に防ぐための「カイゼン講習会」を7回開催し、120人が受講した。
- ・コロナ禍により現地でのカイゼン講習会の開催が制限されるため、講習会の動画をYouTubeで配信した。動画再生回数70回。